

わかせんレポート

wakasen report

利用学生からの声

users voice

2022年5月号

内定までのSTEP!



Profile

S.Uさん
2022年3月同志社大学卒
製造系メーカーへ就職

わかせんを
利用して
京都企業に内定!

01 センターを利用したきっかけと、就職活動で困っていたこと

大学一回生の頃わかせんの夏のインターンシップへの参加がきっかけです。それからセンターから就活関連のお知らせが来たりして、三回生で就活が始まってあらためてセンターの利用を再開しました。センターの方々みなさん優しく、相談しやすいので利用しました。また、京都で就職したいと考えていましたが、なかなか求人が見つからないことが悩みでしたが、わかせんのおかげで今の就職先を見つけました。

02 就職を決めた企業を知ったきっかけと、その企業に就職を決めた理由

わかせんの京都企業紹介セミナーで就職先を見つけました。就職を決めた理由は、就活の軸にぴったりと一致し、会社見学の雰囲気や選考を通して関わる社員のみなさんの雰囲気が自分に合うと感じたからです。

03 ご自身の就職活動を振り返っての感想

コロナ禍で会社の雰囲気がわかりにくかったり、他の学生とコミュニケーションが取りづらいなどのデメリットがあった反面、リモートで気軽に説明会や選考に参加できたのは良かったと思います。いろいろ大変なこともありましたが沢山の支えやご縁のおかげで京都という大好きな土地で、納得のいく就職先を見つけられて本当に良かったと思います。

04 センターを利用して良かったと思うことや利用して良かったサービス

的確なアドバイスを親身になって、そして優しくアットホームな雰囲気で受けられるところです。また、京都の企業をたくさん紹介してもらえるイベントは本当に利用して良かったです。

わかせんレポート 23卒の就活動向

内容：就職活動の状況調査

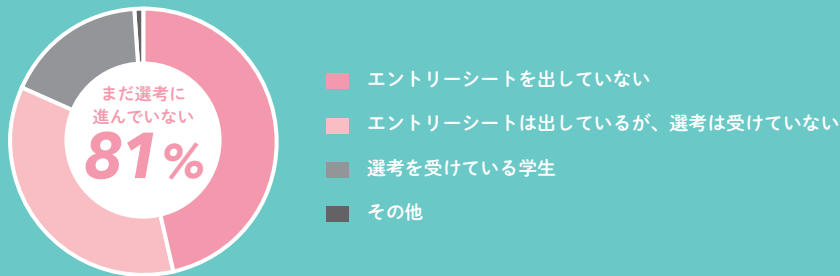
実施期間：令和4年4月2日～20日

調査対象：京都での就職を希望する2023年卒業予定の大学4年生、大学院2年生、短大2年生のうち、センター個別相談およびオンライン合説オンデマンド配信視聴の申込者

調査人数：69人



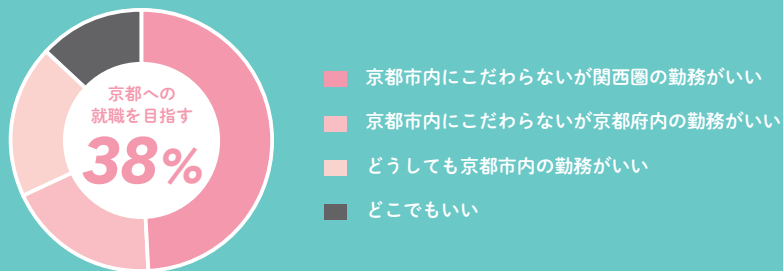
Q1 現時点での第一志望企業の就職活動進捗状況



Q2 現在の活動の中心は大手企業中心か中小企業中心か



Q3 京都での就職にこだわりはありますか



考察 consideration

センター利用者の約7割が中小企業を志望

第一志望企業へはまだエントリーしていないという割合が一番高く（22%）、応募先に迷っている学生が今になり個別相談の利用やオンライン合説オンデマンド配信の視聴をしている。また、応募先の企業規模としては中小企業中心（35%）、どちらかといえば中小企業中心（32%）の割合が高く全体のうち、67%の学生が中小企業への応募を検討しているという結果になった。勤務地については、京都市内にこだわらないが関西圏の勤務がいい（49%）が約半数の割合となりどうしても京都市内の勤務がいい（19%）と、勤務地を市内にこだわり就職活動をしている割合は約2割に留まった。

中小企業も3月1日情報解禁が採用活動の鍵に

今回の集計だけでなく、昨今の就職活動は早期化している中で、中小企業を志望する就活生は動き出しが少し遅い傾向がある。就活生が情報を取得するタイミングで、自社の採用情報をはじめ自社の魅力発信を進めておくことで就活生への認知度UPが期待できる。

中小企業においても、3月1日の就活情報解禁に合わせた採用活動を行うことが重要になりそうだ。



京都市
わかもの就職支援センター